TTC 山行実施記録表

2011年4月5日　　報告者:小嶋孝夫

山行名	大山北尾根　　［1252　m、神奈川県］				
実施日	2011年　3　月　26　日（土）　日帰　　大山頂上集合／下山口解散				
天候／参加人員	天候晴れ　　レベル:　★★　　参加人員:　申込17名／実行16名				
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL／計画　　SL:　　会計:なし　　救護:　　氏　名　削　除				
参加メンバー	氏　名　削　除 男7名／女9名				
費用	現地までのバス代、帰路バス代・小田急電車運賃:各自負担				
歩行／行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	
	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ				行動時間比(実行／計画)　1，03
	計画	7:30	2:00	9:30	歩行時間比(実行／計画)　1，03
	実行	7:55	2:03	9:58	歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)

実行コースタイム記録

（集合）　0:53　　0:14　　0:22　　0:58　　0:08　　0:48　　0:20

大山山頂――西沢ノ頭――ミズヒノ頭――16号鉄塔――一ノ沢峠――林道――520m地点――

11:43　1236　12:44　12:58　13:20　13:30　14:28　14:36　14:52　15:40　15:50

0:26　　0:54　　0:08

物見峠――分岐――登山口――煤ヶ谷バス停――本厚木駅前

16:10　16:22　16:48　17:42　17:50(解散)18:04　18:30

コースの概要、特記事項、反省事項等

快晴の朝である。毎日西の空を見上げてはハラハラし、停電・交通情報を聞いてはドキドキしていたことがうそのようであった。各班それぞれ山頂を目指し行動を開始する。男坂班はＳ．Ｙさんと ＣＬ二人になり女坂班に入れて頂き登行を開始する。男坂と違いのんびり花を愛で大山寺で安全登山を祈願する。ケーブル班にＴＥＬすると駅にいるとのこと。上手くすると下社で合流できると頑張る。運よく？発車が２、３分遅れたとのことで合流し一班にて行動開始！途中の陽だまりで早めの昼食をとり雪に覆われた山頂にて全員集合写真に納まる。梯子でネットを越えるとそこは大山とは思えない別世界で、２日降った雪のおかげで快適なスノーハイクを開始する。下見をしたテント場も一面雪に覆われその先の凍結を危惧していた痩せ尾根もかえって雪のお陰で歩きやすいのでホッとした位であった。西沢ノ頭で一本たてミズヒノ頭も難なく過ぎ１６号鉄塔を目指す。ここの手前の下りはこのコースで最も急で特に上りはつらい！幸いここも凍結はなく楽であった。ここまでくれば安心であり休憩をとる。ここから先は入る人が少ない為かブナやヒノキが多く山相ががらりと変わる。やせ尾根は木の根で歩きにくいところもあるが雪は少なく大きなもみの木が登山道に居座るように根を生やしている。
幾つか小さなピークを越えるとやっとのことで一ノ沢分岐に着き、ここを右に折れると思いのほか長い下りが続きようやく林道に飛び出す。ここでの休憩を利用し義援金募集をする。なんと２１，０００円にもなる。
ここからは自由歩きになるがなが～い上り道にもかかわらず皆さんのなんと早いこと！途中の休憩でトップグループをいくＩ，Ｙさんに早いですねと言ったら「下りだと思っていたら上りなので腹が立ったので早くなった」との事。なんともＴＴＣの女性陣の御元気さに脱帽しました。このいきおいで物見峠まで一気に行き一休み。ここからはガレた道を慎重に歩き長い最後の下りを頑張りようやく登山口に着く。ここでストレッチと思うがあまり時間がなくバス停でゆっくりすることにして歩き出しバス停で解散として長い山行が無事終わることが出来ました。

ヤビツ班からの便り
かなちゃん手形を使って往復５４０円で行って来られる。と喜んでいたら、秦野ヤビツ峠行きのバス停に「震災により蓑毛迄運行」と書いてあった。急遽タクシーで往く事にし、５人乗りのスタットレスの車を探してもらった。ヤビツ峠には数台の車が駐車していたがいつもより少ない。１５年振りのこのコース。違う山に来た様な気

持ち。峠には雪がなかったが、暫くすると雪道になり階段も石ではなく木で土止めされ歩き易い。途中丹沢の展望を楽しみながらゆっくりと歩き、ヤビツ峠から山頂迄休憩をたっぷりとり１時間４０分で着きました。10 時 45 分山頂到着。一番乗りでした。

ケーブル班からの便り

ケーブル駅には早めに着いたので入念な準備体操をして９時発に乗車した。いよいよ発車の段階で運転席からビー！ビー！と鈍い音が響いて初老の運転手がおろおろしている姿が目に映る。もし「故障だから歩いてください」と言われたら予定時刻に山頂まで行かれるだろうか・・・不安がよぎる。幸いにも２～３分遅れで発車したが下社に着いてみれば寄寓にも女坂コースのメンバーと遭遇しそのまま厚かましく山頂迄同行させてもらった。山頂からは静かな北尾根コースを下り、わが班からは「久し振りのロングコース、少し自信がついたような気がします」「今回の北尾根コースで丹沢山や三峰山を望むことが出来て奥が深いことを実感しました。参加してよかったです」等うれしい声が届きました。